

デビュー 50周年を迎えて今脳裏に浮かぶのは、16歳でスペインに留学し4年後に帰国して、虎ノ門ホールでデビューリサイタルをした時のことです。開演前、楽屋で緊張した面持ちで出番を待っていた時のことを昨日のように思い出します。50年の間には楽しい事、苦しい事をいっぱい経験しましたが、やっぱり楽しい事の方が多かったと思います。そして自分にとって常に気がかりだったのは、ギターという素朴な楽器を通していかに豊かな感情表現出来るかということでした。若い頃はギターと闘っていたと思いますが、50歳を越えた頃から自分の中にある感情が、ギターの音を通して外に出せる様になり始めました。それからはギターが自分にとって大切な友になり、その響きに心をゆだねる事が出来る様になりました。勿論これらの事は自分一人の力で出来た訳では無く、私を長年にわたって応援して下さい下さっている方達がい下さっているからこそ成り立っている事を忘れてはなりませんし、感謝の気持ちしかありません。50年間演奏活動をさせていただくことが出来たのは本当に幸せ以外何のでもありませんが、まだ山の中腹なのでこれからも見守っていただければ幸いです。今回はバッハの作品を心を込めて演奏したいと思います。是非聴いて頂ければ嬉しいです。

荘村 清志



©Hiromichi NOZAWA

# Kiyoshi Shomura

## 荘村 清志 (ギター) Kiyoshi Shomura, Guitar

9歳よりギターを始める。1963年に巨匠イエペスに認められ、翌年スペインで師事。

69年日本デビュー、71年には北米で28に及ぶ公演を行い、国際的評価を不動のものにした。74年にはNHK教育テレビ「ギターを弾こう」に講師として出演し、一躍全国にその名と実力が知られることになった。

2008年ビルパオ交響楽団の定期演奏会に出演。同団とは《アランフェス協奏曲》を録音、09年にCDをリリース、日本ツアーのソリストとして同行し好評を得た。2015年10月にはイ・ムジチ合奏団と共演、レコーディングを行った。17年から20年にかけてギターの様々な可能性を追求する「荘村清志スペシャル・プロジェクト」(全4回)に取り組んでいる。第1回は17年にさだまさしと、第2回は18年6月(いずれも東京オペラシティコンサートホール)にcoba、古澤巖、錦織健と共演し、ジャンルの垣根を越えたコラボレーションが話題となった。本年はデビュー50周年に当たり、5月に初のバッハ・アルバム「シャコンヌ」をリリース、全国各地でリサイタルを行っている。

現在、東京音楽大学客員教授。

宗次ホールの情報はこちら！  
フォローお待ちしております

♪ 随時  
更新中です

facebook

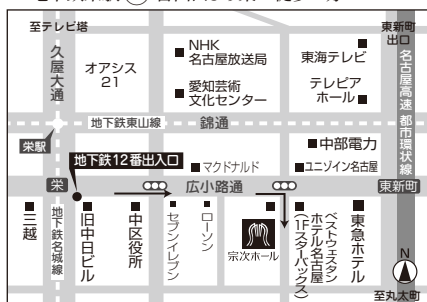


<https://www.facebook.com/munetsuguhall/>



他にも各SNSにて情報発信中！

■交通アクセス  
地下鉄栄駅 ⑫ 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

宗次ホール  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター

営業時間:10:00~16:00

※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業